

今日のキーワード 大幅に改善した「ZEW景況感指数」(欧州)

「ZEW景況感指数」は、ドイツの欧州経済研究センター（ZEW）が発表するドイツの景況感に関する指数です。同指数は、アナリストや機関投資家、市場関係者などを対象としたアンケート調査を基に、良い（良くなる）から悪い（悪くなる）を差し引いて算出されます。同じくドイツの景況感を示すIfo景況感指数とともに、ドイツやユーロ圏の景況感を見る際に注目されます。

ポイント1 現状指数は59.5、期待指数は6.2 それぞれ前月比+4.4ポイント、+5.7ポイント、ともに市場予想を上回る

- 11日に発表された10月の「ZEW景況感指数」の現状指数は、前月比+4.4ポイントの59.5と、市場予想（ブルームバーグ調査、以下同様）の55.5を上回りました。また、今後6カ月先の景気見通しを示す期待指数は前月比+5.7ポイントの6.2と、こちらも市場予想の4.0を上回りました。10月の「ZEW景況感指数」は、いずれも市場参加者がドイツ経済の見通しに前向きになっていることを示しました。

ポイント2 景気堅調の継続を示唆 リスクにも言及

- ZEWのアヒム・バンバッハ所長は、「景況感改善は、国内の経済活動が比較的堅固なことを示している」と指摘しました。
- 一方で、「鉱業や輸出のプラス要因が現在の政治経済リスクを隠せるわけではない。また、国内銀行業界をめぐるリスクは経済見通しの重しとなっている」との見方を示しました。



今後の展開 ドイツ経済は底堅く推移する見込み

- 英国の欧州連合（EU）離脱選択による影響や、ドイツ銀行の経営不安への懸念などから、「ZEW景況感指数」が伸び悩む可能性も考えられましたが、足元のドイツの受注や生産、輸出入の好調さにより、大幅に改善したと思われます。先日発表されたIMFの世界経済見通しでも、ドイツの実質GDP成長率は、2016年は前年比+1.7%、2017年は同+1.4%と、それぞれ0.1ポイントと0.2ポイント上方修正されています。ドイツ経済は今後も底堅く推移すると見込まれます。

ここもチェック! 2016年9月28日 最近の指標から見る欧州経済（2016年9月）「Brexit」の影響は今のところ軽微
2016年9月 9日 ECBの金融政策（2016年9月）金融政策は据え置き、年内にも追加緩和発表か

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。